



お知らせ

資料提供先

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

災害対策用通信機器の操作訓練を実施します。
～災害に備え、衛星通信車などの設営、操作の手順を確認～

管内の災害対応やTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）活動等を迅速かつ確実に実施できるよう、中国地方整備局が保有する災害対策用通信機器を現地で設営、操作する訓練を実施します。

1. 訓練日時 令和4年9月16日（金）10：00～16：00
2. 訓練場所
 - 1) 山口県防府市上右田地先
佐波川右岸7K500 佐波川防災ステーション付近
 - 2) 山口県防府市迫戸町地先
佐波川左岸7K700 総合堰付近
3. 訓練内容
 - 1) 佐波川防災ステーション（現地対策本部）
 - ① 「移動型通信設備（Car-SAT）」による被災状況調査
 - ② 「衛星通信車」「衛星小型画像伝送装置（Ku-SAT II）」
「無線アクセスシステム（i-RAS）」による
通信回線の設営及び映像伝送訓練
 - ③ デジタル移動通信システム（K-λ）を用いた情報伝達訓練
 - 2) 総合堰（通信拠点）
「無線アクセスシステム（i-RAS）」による通信回線の設営及び映像伝送訓練
4. 訓練参加者 中国地方整備局、山口河川国道事務所、弥栄ダム管理所、山口県、防府市
5. その他 当日の天候によっては、中止となる場合があります。

※取材を希望される場合は、事前に下記担当者へ連絡をお願いします。
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスクなどの着用をお願いします。

■問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長 やまがた こういち 山形 浩一
おおくさ さとる
 （担当）防災課長 大草 智

電話番号（0835）22-1795（防災課直通）

【広報担当】 わだ やすまさ 計画課長 和田 康正

衛星通信車運用状況



本資料は、山口河川国道事務所ホームページの「記者発表」でも公開しています。

山口河川国道事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

事業について詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>



ツイッターにて最新情報などを配信しています。

https://twitter.com/mlit_yamaguchi



佐波川の日々の情報をツイッターで配信しています。

https://twitter.com/mlit_sabagawa



防災通信訓練 実施場所



拡大図



移動型衛星通信設備 (Car-SAT)

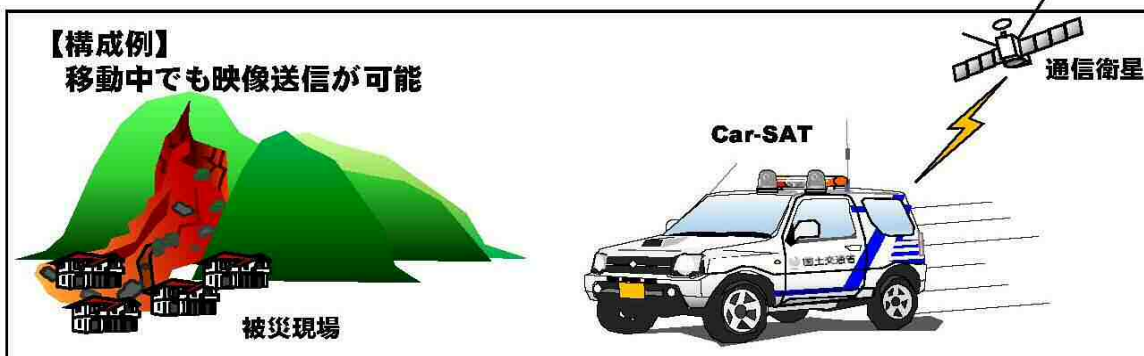
移動型衛星通信設備は、従来の衛星通信車ではできなかった車を走行しながら、どこからでも映像を配信することが可能です。そのため、派遣途中の道路状況の把握が可能です。

主要諸元

アンテナ装置	①アンテナ型式： KYMETA TERMINAL	車両仕様	全長	：4,600mm
送受信装置	①送信電力：40w ②送信周波数：14GHz帯 ③受信周波数：12GHz帯		全幅	：1,855mm
			全高	：1,920mm
			駆動方式	：4輪駆動
			車両総重量	：2,110kg
			型式	：M7リット(カソリン)
			排気量	：2,487cc
			車両燃料	：55ℓ



伝送される映像 (例)



衛星通信車（中型）

衛星通信車は通信衛星を介して、国土交通本省や中国地方整備局等と通信を行います。
更に、国土交通省専用の地上多重通信回線を経由することにより、災害現場等から各事務所へ画像転送、FAX、電話連絡等の通信が行えます。

主要諸元 輸送時：中型(8t未満)免許

アンテナ装置	①アンテナ型式： 1.2mφパラボラアンテナ	車両仕様	全長	:5,970mm
送受信装置	①送信電力：40w ②送信周波数：14GHz帯 ③受信周波数：12GHz帯		全幅	:2,290mm
電源装置	ディーゼル 10kVA 車両燃料使用		全高	:3,510mm
その他付属用品	①K-λ 移動無線 ②超短波無線電話装置 (150MHz帯、10W) ③電話機 (コードレス等) ④モニターテレビ受信器 (6時カテ、21吋液晶) ⑤ビデオ装置 (カメラ、VTR等各携帯型) ⑥カーナビゲーション装置 ⑦コードリール (AC100V、50m) ⑧コードリール (AV用、50m×2) ⑨無線画像伝送装置 (SS.2.4GHz帯) ⑩ヘリコプター連絡無線装置 (400MHz帯、5W) ⑪電源ケーブル (AC100V、30m×2) ⑫コードリール (電話線、50m)		駆動方式	:4輪駆動
			車両総重量	:7,735kg
			乗車定員	:5名
			型式	:水冷ディーゼル機関
			排気量	:8,220cc
			車両燃料	:軽油 150ℓ
				(発電機の連続使用 可能時間 50h)



主要諸元 (ヘリ画像受信装置)

受信空中線	0.3mパラボラ
受信周波数	受信周波数 15GHz帯2波
自動追尾	15GHz帯電波による。
連絡用無線	空中線：スリーブアンテナ 周波数：400MHz帯 送信出力：5W



衛星小型画像伝送装置 (Ku-SAT II)

衛星小型画像伝送装置は、小型でライトバン等に積載して移動ができ、災害現場から通信衛星を介して国土交通本省、中国地方整備局及び事務所へ準動画画像、電話、FAXを送る回線に使用します。

主要諸元

周波数範囲	送信：14.0～14.5Ghz
(Ku帯)	受信：12.25～12.75Ghz
伝送速度	画像：768Kbps
アンテナ径	平面アンテナ
送信出力	2.5W



付属品
カメラ装置：ハンディカム、三脚
発動発電機 100V、550VA、携行用燃料缶付
電源コード：30mドラム

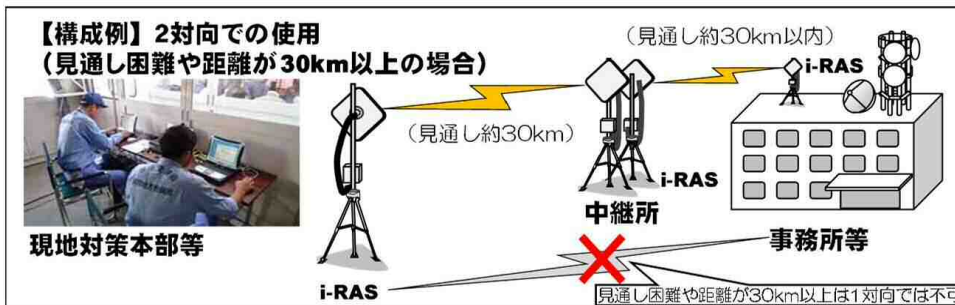
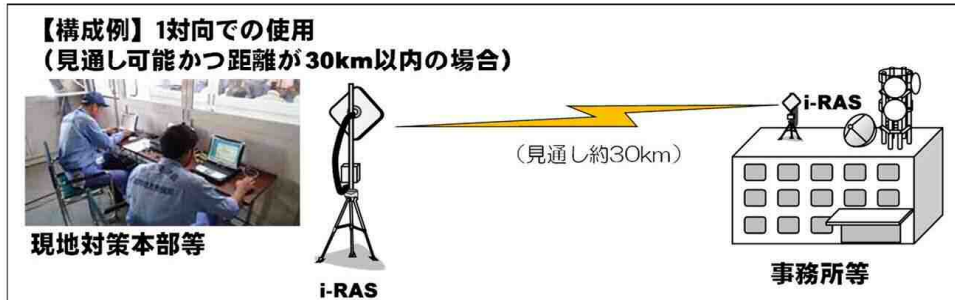
無線アクセスシステム (i-RAS)

無線アクセスシステムは、アンテナの対向通信で約30km程度離れたところから、映像や音声を配信することができ、自治体庁舎などの現地対策拠点に事務所と同等の通信環境を構築することが可能です。

主要諸元

周波数	4.9GHz帯
伝送距離	30km 晴天時見通し圏内において
伝送容量	5Mbps
アンテナ径	180×180×75(mm)
送信出力	100mw

付属品：アンテナ用三脚、設定用パソコン



デジタル移動通信システム (k-λ)

K-LAMBDA (K-λ) Kokudokoutsuu LAnd Mobile-system By Digital Access

デジタル移動通信システムは、単信通信方式の音声通話装置で、携帯局同士での通話、または山上に整備している基地局経由で中国地方整備局及び事務所との通話が可能です。

主要諸元

周波数	150MHz帯
伝送距離	2~3km(携帯局同士、見通し圏内) ※基地局経由場合は数十km
伝送内容	音声、位置情報



携帯型